ゴルフ北海道倶楽部対抗

札幌（Aグループ）大会新9連覇

26差圧勝

◇最終日◇25日◇北広島・札幌GC輪厚コースほか◇出場102チーム、816人

Aグループは、札幌が大会記録を更新する9連覇を達成した。2008年（平20）から連続優勝し、昨年、同倶楽部が保持する61〜68年の8連覇に並んでいた。初日は2位千歳空港に10打差の541をマークし、最終日はその差を26打まで広げ、トータル1082で圧勝した。Bグループは大沼レイクが1132、Cグループはオホーツクが1151で、それぞれ優勝した。

恒例のガッツ

札幌が前人未到の金字塔を打ち立てた。北海道ゴルフ連盟史上初となる9連覇の快挙だ。表彰式では恒例になったガッツポーズで、メンバー全員が会心の笑みを浮かべた。同倶楽部が持つ8連覇を48年ぶりに更新し、常務理事の太田三夫キャプテン（67）は「9連覇というより10連覇を狙っているので、その中途という感じ。選手の能力と普段からの努力がよかった」と喜んだ。

「V10狙う その中途」太田常務理事

五輪競技復活の年 新時代幕開け

「打倒札幌」の圧力をチームワークではね返した。6月から昨年より3回多い16回のラウンドをこなしてきた。各倶楽部からのプレッシャーがかかる中、第1日は長井啓嗣（38）が「ショットがよくパターが付いてきてくれた」と、チームベスト70をマークするなどトータル541で首位。真骨頂は最終日だった。この日は宮本太郎（32）が74で先導。「今まで足を引っ張っていたのでようやく貢献できた」。終わってみれば26打差で、王者の貫禄を見せつけた。

勝因は緊張感

勝因は緊張感だった。野村光孝選手会主将（55）は「初日10打差だったので、逆に気を引き締めた。それぞれが責任を果たした」と、選手1人1人の努力をたたえた。昨年のV8時に「9は格好悪いので10にしたい」と話していた野村主将。来年は当然10連覇へ挑む。「練習方法や戦略力をリクルートを含めて大胆検討で頑張りたい」。リオデジャネイロ五輪で112年ぶりにゴルフが復活した年、札幌の新時代が幕を開けた。

◆北海道倶楽部対抗競技◆

【Aグループ上位成績表】

順	クラブ	成績
①	札幌	1082
	宮本太郎	150（76-74）
	[illegible]	[illegible]
	[illegible]	[illegible]
	[illegible]	[illegible]
	[illegible]	[illegible]
	[illegible]	[illegible]
	[illegible]	[illegible]
	[illegible]	[illegible]
②	千歳空港	[illegible]
③	札幌国際	[illegible]
④	千歳	[illegible]
⑤	釧路	[illegible]
⑥	恵庭	[illegible]
⑦	札幌リージェント	[illegible]
⑧	滝の	[illegible]
⑨	クラーク	[illegible]
⑩	GOLF5	[illegible]
⑪	エバーグリーン	[illegible]
⑫	コート旭川	[illegible]
⑬	阿寒	[illegible]
⑭	シャムロック	[illegible]
⑮	ハッピーバレー	[illegible]

【Bグループ上位成績表】

順	クラブ	成績
①	大沼レイク	[illegible]
②	十勝	[illegible]
③	真駒内	[illegible]

【Cグループ上位成績表】

順	クラブ	成績
①	オホーツク	[illegible]
②	ユーウランド	[illegible]
③	ニセコ	[illegible]

【注】チーム成績はスコア上位7人の合計。Aグループは上位15位、B、Cグループは上位3チーム

〈主催〉北海道ゴルフ連盟〈後援〉北海道、札幌市、恵庭市、北広島市、北海道体育協会

A3位　札幌国際

「2位ごめん」も

「もう2位はごめん」を合言葉に挑んだ札幌国際は、昨年2位から順位を下げた。昨年まで4年連続2位で、西川和夫主将（66）は「優勝はできなかったが、2位でなかったから目標通りか。でも相手は強いな」と、札幌の9連覇に脱帽した。チームベストの153で回った加藤龍三（51）は「まず応援してくれたゴルフ場の人たちに感謝。最小限の銅メダルがとれてよかった」と話した。

A5位　釧路

22位から大躍進

釧路が昨年の22位から大きく躍進した。春田敏治主将（73）は「目標はベスト10入りだったので順位は満足。メンバーを若手に切り替えたのがよかった」と、世代交代の効果を強調した。39歳の上田修平が147の好スコアを出すなど、若手がチームを牽引した。春田主将は「彼がよく働いてくれた。うちは先輩たちが若手を育てるというチーム。また来年に向けて若手を育てていく」と話した。

B組1位の大沼レイク

B1位　大沼レイク

1年で返り咲き

大沼レイクがBグループで優勝し、1年でAグループに返り咲いた。昨年はポイントゲッター不在でAグループ最下位だった。鈴木貴雄団長（61）は「目標はAグループに戻ること。昨日は15位だったので無理だと思っていた」と、快進撃を振り返った。第1日終了後、選手15人で焼き肉パーティーでスタミナをつけたという。今年ブレザーを新調した選手たちの次の目標は、Aグループ定着だ。

C1位　オホーツク

5年ぶりB昇格

Cグループは昨年同グループ2位のオホーツクが、大躍進で優勝を果たした。元村誠（おさむ）監督（61）は「日頃の練習とチームワークがよかった」と喜んだ。最終日に加藤宏美（55）がツキサップ8番（パー3）で「やっちゃった」と、ホールインワンを決めた。元村監督は「それが勝因」と目を細めながら、5年ぶりとなるBでの勝負を問われると、「来季はAを目指すよ」と力を込めた。

C組1位のオホーツク

A2位　千歳空港

2度目準V満足

11年に続き2度目の準優勝に輝いた千歳空港は、チーム全員が満足そうな笑顔を見せた。田中勝義主将（56）は「最高の成績ですね。飛び抜けた選手はいないが、全員が安定しているのが強み」。また30歳台が4人と、若手中心で臨んだのも功を奏した。最年少で同主将の次男大樹（31）は「満足だけど、やはり優勝したかった。来年は札幌の10連覇を阻止したい」と優勝奪還を誓った。

A4位　千歳

「悔しい」の一言

「ひと言、悔しいです」。千歳の土門厚一主将（75）は4位の結果に悔しがった。昨年は前年の13位から3位にジャンプアップし、今年はさらに順位を上げることを目標にしていた。「予定では2位だったんだけどね。でも選手はよく頑張ってくれた」。チームも140台を2人がマークするなど成長している。「来年は順位を上げる。また明日から練習ですよ」と気持ちを切り替えていた。

A6位　恵庭

初昇格「困った」

「こんな順位で困ってしまいます」。恵庭の大沢稔主将（62）は恐縮気味だ。一昨年はCグループ2位、昨年はBグループ8位で、今年、20年目で初めてAグループに昇格。「目標はAグループ残留だったんですけど。最終的に中間くらいの順位だったら」と予想以上の順位に戸惑いながらも、自らチームベストの155で回り貢献した。大躍進に「来年の目標？　困ってしまいます」。

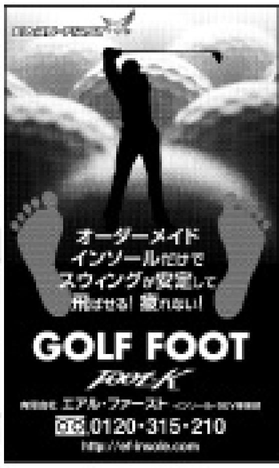
ベストスコアひと言

◆Aグループでベストスコア146の佐藤昌喜（43＝千歳）　チームがいい成績でないのが残念。来年は2日間69で回る。

◆Bグループでベストスコア145の蛯名和明（44＝小樽）　スコアは上出来だったが、チームがAグループに上がれなかった。

◆Cグループでベストスコア151の土屋英樹（46＝北海道リンクス）　2回目の出場だが、すごく運がよかった。実力以上のスコアだ。ショットが、よかった。

スープカリー＆Dining Cafe
Kiri Kiri
the SUN premium
〒060-0042
札幌市中央区大通西17丁目2-15
サンポリマー札幌ビル2F
TEL 011-632-1009



オーダーメイド
インソールだけで
スウィングが安定して
飛ばせる！疲れない！
GOLF FOOT
エアル・ファースト
0120-315-210
http://af-insole.com

私たちは北海道のアマチュアゴルファーを応援します
（順不同）

札幌ゴルフ倶楽部

札幌国際カントリークラブ

小樽カントリー倶楽部

札幌ベイゴルフ倶楽部

北海道ブルックスカントリークラブ

北海道ゴルフ連盟
会長　吉野次郎

道央アマゴルフ研修会
会長　高橋成司
副会長　高木泰成
副会長　安積孝三
副会長　石岡和昭
副会長　高木直美
幹事長　中田昌雄

PGA
北海道プロゴルフ会
会長　白石範隆
副会長　井川由高
副会長　乙坂孝一
副会長　片倉修
副会長　後藤満吉
事務局長　上本敏史

前エアル・ファースト
代表取締役社長
斉藤孝行

ザ・サン・グループ
代表
高江一王

大和リゾート㈱
ロイトン札幌
総支配人
大浦隆司